

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

67

平成29年5月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

平成28年度 ふれあい・いきいきサロン 第2回 お世話人研修会を開催しました



平成29年3月17日（金）13時30分～15時、八幡浜市民スポーツセンター2階サブアリーナにて、「平成28年度ふれあい・いきいきサロン事業 第2回お世話人研修会」を開催しました。当日は、各サロンのお世話人を中心に、サロン参加者や地区社協会長など170名が参加しました。

ふれあい・いきいきサロンは、気軽に参加できる場としての役割を担いながら、体操や脳トレなど介護予防につながる活動も取り入れています。

今回の研修会では、講師の西田千景氏指導のもと、デイスコンの体験をしました。デイスコンは、赤と青の2チームに分かれて、1チーム6枚のデイスコンを投げ、先に投げておいた黄色いポイントにどちらが近づいているかを競う、ニュースポーツです。参加者のほとんどは初めての体験で、ルールに戸惑いながらも、対戦相手のデイスコンを弾いたり、思いのほか遠くへ投げたりすると、歓声や笑いが起こり、楽しく充実した研修会となりました。



今年も開講！勉強したい方、「自分にできること」をお探しの方、誰でも歓迎！
手話奉仕員養成講座 受講者募集！



- 第1回 開講式
伝え合ってみましょう
- 第2回 名前を紹介しましょう
- 第3回 聴覚障がい者の基礎知識・生活
- 第4回 家族を紹介しましょう
- 第5回 数を使って話しましょう

■ 日 時 平成29年6月6日(火) 平成30年2月27日(火) 19時30分～21時(全35回)

■ 場 所 八幡浜市保健福祉総合センター2階 シルバーボランティアルーム

■ 内 容 手話について勉強するのはもちろん、聴覚障がいや聴覚障がい者の生活についても学べます。入門編(講座1～17)と基礎編(講座17～35)の2部構成。どちらか一方の受講も受付します。

■ 参加対象 市内に在住・在勤の方で、ボランティアに興味のある方

■ 定 員 20名程度

■ 受講料等 テキスト代3240円(税込)

■ 講 師 愛媛県聴覚言語専門指導員
八幡浜市役所設置通訳者 岡野由季枝氏
八幡浜市聴覚障害者協会 藤高 清美氏
伊藤 佳子氏



点字・朗読のことを 見て・知って・体験する！

学びのバスツアー

無料!

目の見えない方を支えるボランティア活動について、ご存知ですか？八幡浜市内には、「声」と「手」で情報を伝えるボランティアさんが活動しています。今回のバスツアーでは、松山市にある『愛媛県視聴覚福祉センター』の施設見学や体験を通して、点字や朗読(音声訳)のボランティア活動について楽しく学びます。

■ 見学日時 平成29年6月20日(火) 10時～12時

■ 場 所 愛媛県視聴覚福祉センター
(松山市本町6丁目11番5号)

■ 参加対象 これからボランティアをしてみようと考えている方、すでに活動している方で点字・朗読グループの活動を知りたい方等。

■ 定 員 20名(定員になり次第受付終了)

■ 申込方法 電話にてご連絡ください。

■ 申込締切 平成29年6月2日(金)

■ その他 ・バス乗車時間・場所については、申込み受付後にご連絡します。
・センター見学後、松山市内で昼食をとります。

愛媛県視聴覚福祉センターとは

目や耳の不自由な方の社会参加の拠点や、ボランティアの学習や交流の場等、様々なサービスを提供。点字図書館・点字出版施設、聴覚障害者情報提供施設を併設しており、講習会やセミナー、ボランティア活動、交流会、障がい者の生活訓練等を行っている。

**お申し込み
お問合せ先**

開催要綱や詳しい日程の書類をご希望の方も、お気軽にお問合せ下さい。

八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL 0894-23-2940 FAX 0894-23-0506

住んでいる街をキレイにしよう！ ボランティア市内清掃を行いました



グループ内で交流しながら清掃

平成29年3月25日(土) 10時〜12時、市内のボランティア団体加入者他有志61人により、小雨が時折降る中、市内一斉清掃を実施しました。

活動の原点に立ち返る

主催団体である八幡浜市ボランティア協議会(以下、ボラ協)は、昭和63年9月に結成されました。市内で活動するボランティア団体が加入し、お互いの情報交換や八幡浜市社会福祉協議会と共催で開催する『福祉のつどい』への関わりなど、長年地道な活動を続けています。



グループリーダーより清掃コースの確認

平成27年度、ボラ協加入団体へ声をかけ、座談会を開催しました。その中で、出席者から「ボラ協の原点は、清掃だった」という声があがったことを機に、原点復帰の意味も込めて市内清掃の復活開催を企画、実施しました。道の駅みなつを中心約100名で清掃された後には、『えひめいやしの南予博』が盛大に開催されました。

平成28年度は、第30回の節目を迎える『福祉のつどい』の会場となる新町ドームの床磨き、広範囲を歩いてゴミを拾う等、前年よりも規模を拡大して実施しました。



新町ドームはデッキブラシでゴシゴシ

意識してみると気付く ゴミ・汚れ

新町ドームでは、高校生を中心にデッキブラシで床を磨きました。磨けば磨くほど洗剤が黒く汚れ、キレイになっていることを実感しました。

その他の参加者は、3班に分かれ歩きながらゴミを拾いました。普段歩いている道も、ゴミを探しながら歩いてみると景色が変わります。「意外と落ちてないものやな」「今はこんなに街がキレイになつとるんやね」等の声が聞こえ、今自分たちの住んでいる街の素敵な一面を垣間見ることができました。ゴミを見つけると、お互いに声をかけ合いながら拾っていました。

清掃活動に励みながら、参加者間で交流する機会にもなりました。

参加団体(敬称略・順不同)

- 八幡浜市VYS連絡協議会
- 川之石高校VYS部
- 八幡浜高校VYS部
- 八幡浜市母子寡婦福祉連合会
- 朗読ボランティアどんぐり
- 点訳サークル竹の子会
- 八幡浜市ともしび婦人会
- 八幡浜市食生活改善推進協議会
- 八幡浜市 八幡浜・保内赤十字奉仕団
- 傾聴ボランティアゆうの会
- 手話サークルあゆみの会
- 精神保健ボランティアはまかせ
- 八幡浜市民生児童委員協議会
- 八幡浜市連合婦人会
- 八幡浜市中心障害者(児)連合会
- 八幡浜元気プロジェクト(YGP)
- ゴミサミット実行委員会
- 養護老人ホームあけぼの荘
- その他ボランティア有志



ゆめみかん周辺もたくさんゴミを拾いました

「すべての人に、居場所と、出番と、つながりを」 生活のしづらさを抱えている人の 就労支援を考える

平成29年2月27日（月）15時～17時、みなと交流館において、研修会「ライフステージと状況に応じた働くをデザインする」を開催しました。（赤い羽根えひめ「地域から孤立をなくそう」特別事業）

企業、障害をもつ当事者の保護者、八西更生保護女性会、みなと交流館、市議会議員、ボランティアコーディネーター、権利擁護従事者、障害者・高齢者福祉事業所、自立相談支援事業所等約50名の方に出席していただきました。

一般社団法人ライフデザイン・ラボ代表理事 白水崇真子（しろうず・すまこ）氏に講師を務めていただきました。白水氏は、長年キャリアコンサルタントとして、ネットカフェ難民や不登校、引きこもり、生活困窮者等生活のしづらさを抱える方々の生活支援・就労支援に従事されています。白水氏は、「難しい状況にある当事者でも、出口は必ずある」「就労支援とは、就職支援ではなく、暮らしそのものの支援」「すべての人に居場所と出番とつながりをつくるのが包括的支援のミッション」とお話されました。

本会の相談窓口においては、40～50

代の男性の相談が増えています。様々な状況のもと、就職活動がスムーズにいかない、仕事が決まらない、仕事が決まらない、現金がない、ライフラインが止まっている、家族や地域との関係が希薄等どう暮らして良いか分からないと悩まれています。今後も、本会では、地域ぐるみで「働くと暮らし」を支え合えるよう、いろんな立場の人で語り、学び合う場を提供していきます。



実際の事例をお話していただきました

「平成28年度虐待防止セミナー」を 開催しました

平成29年3月21日（火）19時～20時40分、八幡浜商工会議所5階大ホールにて、「平成28年度虐待防止セミナー」を開催しました。八幡浜市内の介護保険事業所・高齢者施設の介護福祉士、ヘルパー、介護支援専門員、看護師、相談員ら約90名の方が参加しました。

本セミナーは、権利擁護と虐待防止の視点から、介護保険サービスを利用する利用者とその支援者が、互いに権利を守りながらより良く支援することを目的に開催しています。今年度は、人権を専門に研究している聖カタリナ大学人間健康福祉学部の山本克司教授をお招きし、「より良く生きる権利を守る」と題してご講演いただきました。

冒頭、山本教授は「支援者が自己犠牲的に頑張ることが良い支援ではなく、みんなが幸せになることを目指さなければいけない」と述べられ、実際の事例をもとに、権利を守ること、より良く支援することを考えました。幸せに生きる権利は誰にも邪魔されることのない大切な権利です。しかし、サービスを安心・安全に提供するためには、一定の制限も必要になります。利用者

をかけたえのない個人として尊重することと、施設が安心・安全にサービスを提供することの調整について、人権と法律の視点から理解していきました。その他、利用者の権利を最大限尊重した上で、制限が必要な場合であっても代替案がないかを検証し、制限するならば必要最小限に留めなければならず、利用者本人や家族への説明責任をしっかりと果たすことや、職員間の情報共有を図ることが重要であるとお話されました。参加者からは、「事例を通して法的、人権的視点で理解することができた」等の意見をいただきました。



熱心に講演に耳を傾ける参加者

ふれあい子育てサロンお世話人研修会 身近な物で簡単おもちゃ作り！ おもちゃの効果を知る

平成 29 年 3 月 24 日（金）9 時 30 分～11 時 30 分、八幡浜市保健福祉総合センター 4 階多目的ホールにて、平成 28 年度ふれあい子育てサロン第 2 回お世話人研修会を開催しました。

現在八幡浜市内には、12 の子育てサロンがあり、地域の方がお世話人として親子（未就学児）の参加できる集いの場を運営しています。今回の研修会では、一般社団法人 愛媛県ネットワーク協会の幸田裕司 氏、加藤美佐子 氏を講師にお招きし、おもちゃインストラクターとして、おもちゃの効果や身近な物で作ることのできるおもちゃの紹介をしていただきました。

講座では、子どもも、大人も、専門職も「遊び力」が低下しており、子どもの時に一生懸命遊ばないと大人になって一生懸命仕事ができないこと、おもちゃはコミュニケーションのためのグッズのため、親と子や子ども同士が一緒に遊ぶことが重要であり、人との関わりから様々な刺激や摩擦を受けることで社会性を身に付けること等、分かりやすくお話していただきました。

その後、ハサミやのり等の道具を使わなくてもできる新聞紙遊びや、紙コッ



新聞紙でできる多種多様な遊びを体験

プを主材料に、輪ゴムと組み合わせ、「紙コップロケット」、ポリ袋とストローと組み合わせ「びっくり風船」を実際に作製しました。どれも簡単にできる遊びであり、作製したおもちゃ一つひとつの個性に、参加者は自然と笑顔になりました。

ゲーム機等ひとり遊びのためのおもちゃが普及していますが、誰かと一緒に遊ぶ体験が、子どもの成長にとってとても大切であることを学ぶことができました。

平成 29 年度 心配ごと相談所 開設のご案内

八幡浜市社会福祉協議会では、昭和 35 年より心配ごと相談所を開設しています。ご相談は無料、秘密厳守です。民生児童委員、弁護士、司法書士、障害福祉の相談員、社会福祉士が、お話をお伺いします。

八幡浜市社会福祉協議会 本所 (八幡浜市保健福祉総合センター 2 階)

一般相談 第 1・第 3 木曜日

相続相談 第 1 月曜日

法律相談 第 2 木曜日

八幡浜市社会福祉協議会 支所 (保内町保健福祉センター)

一般相談 毎月 10 日

法律相談 4 月 20 日、7 月 20 日
10 月 19 日、1 月 18 日

- ☞ 開所時間 13 時 30 分～16 時。開設日など詳細は、市社協ホームページや八幡浜市の広報紙でご確認をお願いします。
- ☞ 相続相談、法律相談については、事前予約が必要です。
- ☞ 開所予定日が土・日・祝日となる場合には、繰り下げた日に開所します。

過去には、こんなご相談を受けています
「金銭トラブル」「離婚」「家族の心配事」
「空き家の老朽化」…

お問合せ
ご予約先

八幡浜市社協地域福祉課
☎ 0894 - 23 - 2940

平成29年度 八幡浜市社会福祉協議会

事業計画

本年度は、国が制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をもっと作っていく社会を目指す「地域共生社会」を提唱したことを受け、その動向を十分に把握し、社協が推進してきた地域福祉の基盤整備と地域での実践が一層促進されるような取り組みを強化します。



平成 28 年度八幡浜市社会福祉大会



ふれあい・いきいきサロン(さくらサロン/神山)



市民後見人養成講座

A. 法人経営の基盤整備の推進

理事会等の法人運営の他、会計経理事務等をはじめとする財務管理、職員採用計画や研修・能力開発等の充実による人事管理等、社協事業全体の管理業務にあたります。

- 理事会・評議員会の開催
- 八幡浜市社会福祉大会の開催
- 地区社協会長会議及び各種研修会
- 地区社協組織の充実と活動支援
- 情報活動の促進
- 自主財源の確保と適正な運営
- 財務の適正化と事務の合理化
- 職員の研修・資質の向上

B. 地域福祉活動の推進

「すこやかな心ふれあう思いやりのあるまちづくり」を目指して地域の様々な生活課題・福祉課題に対して、地域住民、関係団体機関、行政等とともに考え、第3次地域福祉活動計画の策定、本計画に沿った活動を推進していきます。

- 地域福祉活動の推進・強化
- ボランティア活動の推進
- 共同募金運動の推進協力
- 児童母子寡婦福祉事業の推進
- 心身障がい者(児)・高齢者福祉の推進
- 関係機関・団体との連携強化

C. 権利擁護の推進

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない市民が成年後見制度等権利擁護に関する制度を円滑に利用できるような支援を行い、安心して暮らせる地域づくりを目指すと共に、福祉サービスの質の向上と利用者の利益の保護を図ります。また、あらゆる生活課題への対応として相談、支援体制の強化に努めます。

- 八幡浜市権利擁護センター事業
- 福祉サービス利用支援事業の推進
- 生活支援・相談活動の充実
- 八幡浜市生活困窮者自立支援事業
- 苦情解決機能の推進

D. 在宅福祉サービスの推進

単身世帯等の増加、支援を必要とする軽度の高齢者が増加する中で、生活支援の必要性が高まっています。利用者の状況に応じた質の高いサービスの提供、独居や認知症の困難事例の積極的な受け入れ、また、地域の方々から発信される課題を把握し、新たなサービスへ結びつけるなど、地域の福祉サービス水準の向上を目指します。また、事業の経営状況を把握し、効率的な運営に努め、住民同士の助け合いや地域づくりを進める体制づくりにも協力しながら、社協としての役割を認識して運営に努めます。

- 介護保険事業
- 障がい福祉サービス事業
- 介護予防・生活支援サービス事業
- その他受託事業
- 福祉用具貸出し事業



ある日の
デイサービスの食事

E. 施設サービスの推進
(養護老人ホーム)

身寄りがなく経済的困窮にある高齢者はもとより、身体・知的・精神等の障害者、難病に罹患している方、虐待により避難を余儀なくされた方など、多様な生活課題への対応が必要となっています。長年培ってきた経験をもとに、養護老人ホームに入所された方々が、在宅高齢者と同様に多様な選択肢(自己決定権)のある生きがいの持てる暮らしを送っていただけるよう、個別性に配慮した支援に努めます。

- 養護老人ホームの管理・経営(湯島の里・あけぼの荘)
- 入所者の処遇の配慮
- 職員の資質向上
- 防災対策
- 社会(地域)貢献



湯島の里

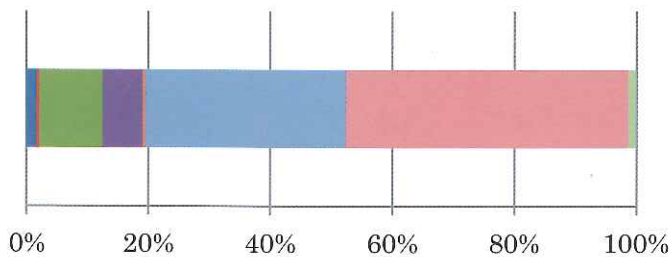


あけぼの荘

収入

会費	7,000,000円
寄付金	2,300,000円
経営経費補助金	45,764,000円
受託金	28,496,000円
貸付事業	250,000円
事業	1,570,000円
介護保険事業	144,272,000円
老人福祉事業	202,741,000円
障害福祉サービス等事業	5,208,000円
受取利息配当金	115,000円
その他	580,000円

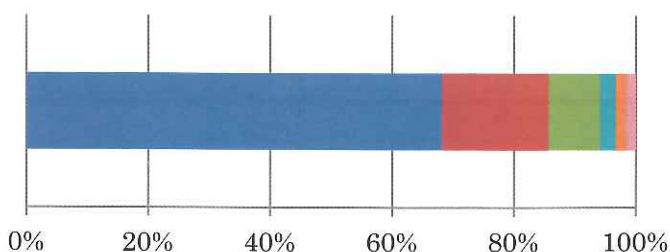
収入合計 438,296,000円



支出

人件費	304,168,000円
事業費	78,441,000円
事務費	37,446,000円
貸付事業	200,000円
共同募金配分金事業	11,450,000円
助成金	8,150,000円
固定資産取得	1,108,000円
積立資金	5,347,000円

支出合計 446,310,000円



平成29年度 八幡浜市社会福祉協議会 当初予算

第 30 回 福祉のつどいを開催します！

テーマ：出会い ふれあい 笑顔と感謝



平成 29 年 **5 月 21 日(日)** 10:00 ~ 15:00
場所：新町ドーム及びその周辺

30周年を迎える福祉のつどい

今年は「ダウン症児者ダンスグループJOYPOP」を招き、元気なダンスで会場を盛り上げていただきます！「バラ寿司」「たこ焼き」等ボランティア団体お手製の食べ物や、楽しいステージで、皆さまのお越しをお待ちしています。

大人気の「もちまき」もあります！

主催：八幡浜市社会福祉協議会
八幡浜市ボランティア協議会
協賛：新町商店街振興組合

新町商店街の協賛により、10時からのもちまきには新町商店街で利用できる「お買い物券」あり！

四国各地から大勢参加！

平成 29 年度 第 15 回四国地域福祉実践セミナー in 八幡浜 シンポジウム：八幡浜発 " ちゃんぽん型福祉 " ~地域をつくる新たなネットワーク~

平成 29 年 **7 月 22 日(土)** 12:30 ~ **7 月 23 日(日)** 12:30 まで
場所：ゆめみかん 大ホール 他

いま、私たちの町には、貧困や虐待、要介護・認知症など深刻な生活課題を抱えた人々をはじめ、孤立・孤独や買い物、移動、仲間づくりなど日常生活に支障を来す人々も多くなっています。生活のしづらさや生活困難は、専門職によるサービスだけで解決する問題ではなく、社協、行政、社会福祉法人、民生委員・児童委員、自治会、ボランティアに加えて、NPO法人、商店街、企業、現役世代、若者、隣人など多様な市民・機関・団体が参加し、専門職

と協力した『新たな支え合い』が求められています。これまで関わりのなかった人々や団体、会社やお店等、地域の社会資源が新たに手をとり、力を合わせて支え合う地域づくりが必要となってきました。

「八幡浜ちゃんぽん」のように、地域の人やモノなど、いろいろな資源が“ごちゃまぜ”につながり合いながら、新たな支え合いを作ることを目的に、開催します。

分
科
会

- ① 『農福連携』 ~みんなが役割を持つと地域が元気になる~
- ② 民生委員制度創設 100 周年~地域住民とともに「わがまちならでは」の活動を~
- ③ 企業×ボランティア×住民の協働から生み出す「みんなの福」
- ④ ごちゃまぜ福祉教育~他人や地域の困りごとを「我が事」として考えられる社会へ~

お問合せ先

八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL 0894-23-2940 FAX 0894-23-0506